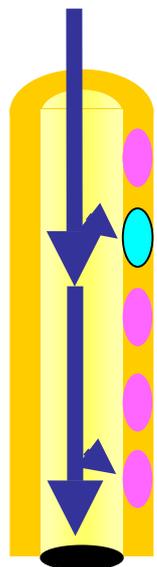


インクレチンとは？

食事を摂ると消化管から分泌されるホルモンで、食欲をコントロールしたり、膵臓からのインスリンの分泌を促進したりします。GIPとGLP-1という2つのホルモンがあります。

栄養素

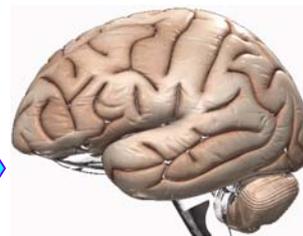


GIP

GLP-1

小腸

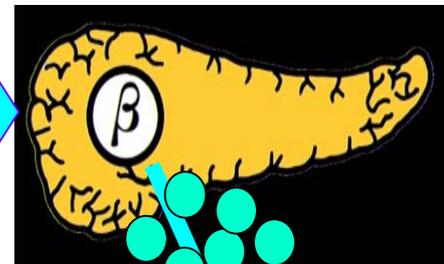
インクレチン
受容体



脳: 食欲抑制

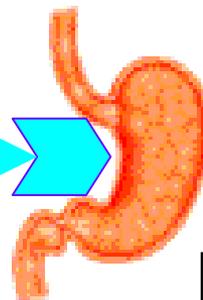
食欲を抑え、体重を減らします。

膵β細胞



インスリン

インスリン分泌を促進するとともに、膵β細胞の増殖を促進する可能性も報告されています。

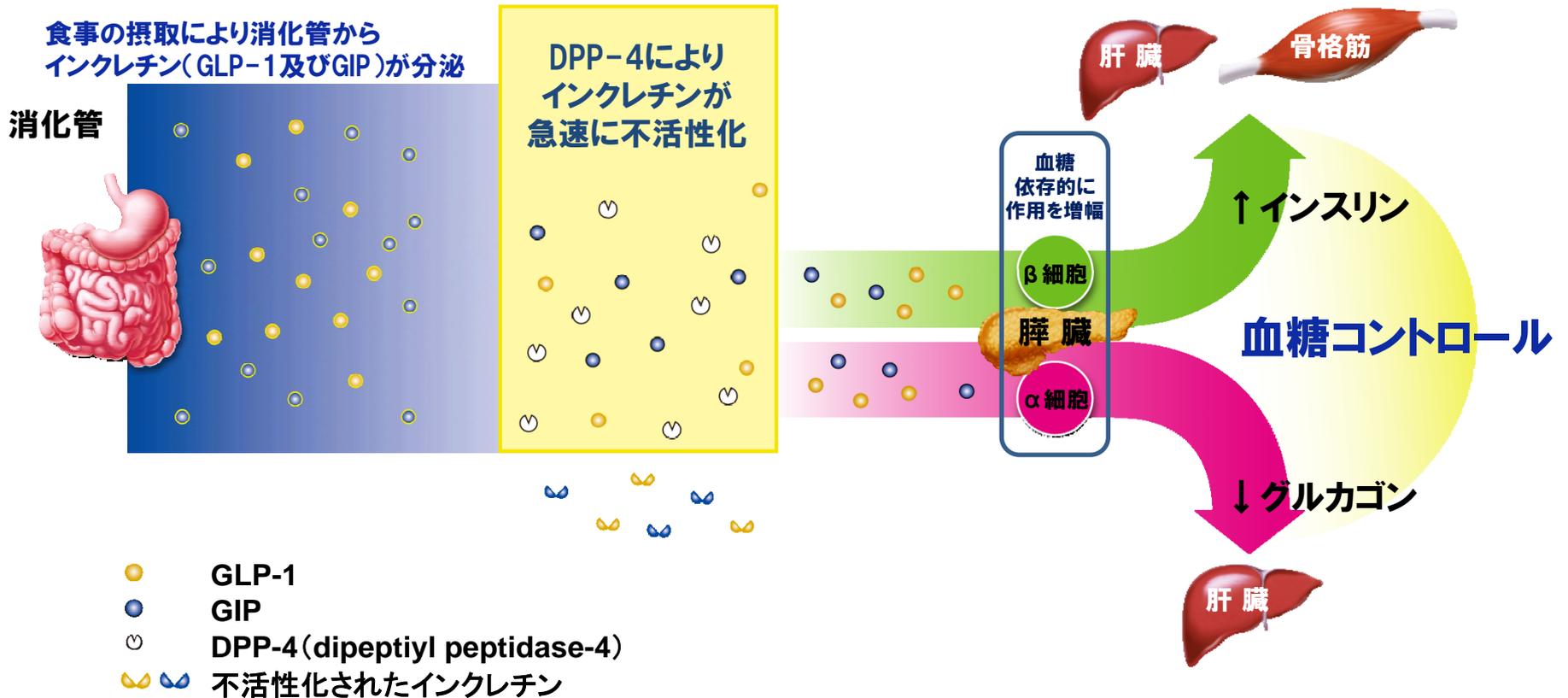


胃の運動低下

胃の運動を抑えます。

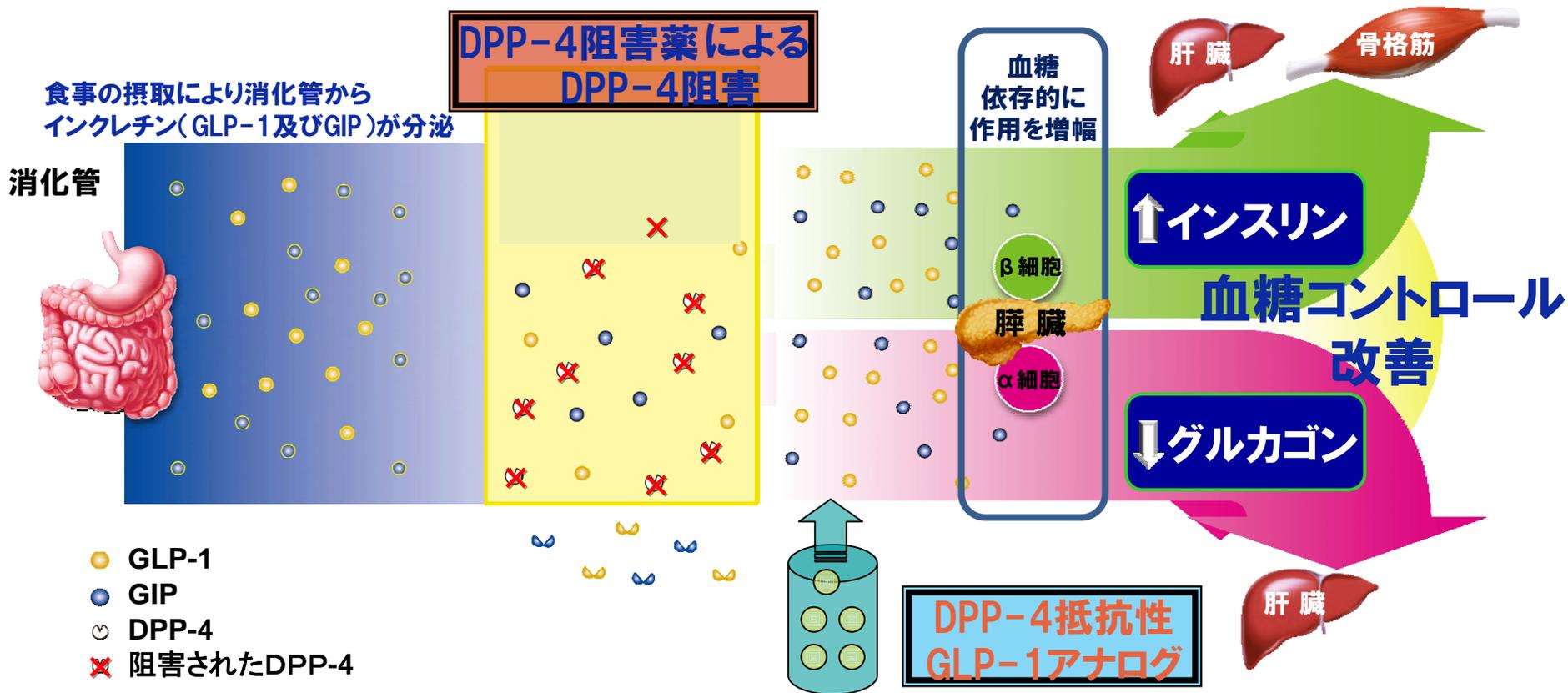
GLP-1 (glucagon-like peptide-1)
GIP (glucose-dependent insulinotropic polypeptide
またはgastric inhibitory polypeptide)

インクレチンの作用



インクレチンは、血糖値が高いときのみインスリン分泌を促進する(血糖依存的な作用)ので、低血糖が起きにくいのが特徴です。また、グルカゴンという血糖を上げる働きをしているホルモンの分泌を抑制することによっても血糖を低下しますが、低血糖の時にはグルカゴンの分泌を抑制しないことが報告されています。さらに、インクレチンには体重減少などの作用も期待されています。しかし、体内でのインクレチンは、**DPP-4**という蛋白分解酵素によりわずか数分で分解されてしまいます。

インクレチン治療薬 (2型糖尿病の新しい治療薬です)



活性型インクレチンを増加することにより・・・

- ・ 血糖依存的にβ細胞からのインスリン分泌促進
- ・ 血糖依存的にα細胞からのグルカゴン分泌抑制

血糖コントロール改善

インクレチン治療薬には、DPP-4の働きを阻害してインクレチンを分解されにくくすることによって血中インクレチン濃度を増やすDPP-4阻害薬と、DPP-4に分解されにくいGLP-1の注射薬(GLP-1アナログ)があります。インクレチン治療薬は2型糖尿病の治療薬です。詳細は主治医にお尋ねください。